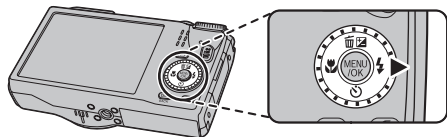
ϟ フラッシュ撮影する（スーパーｉフラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 ϟ（▶）ボタンを押して、フラッシュ設定画面を表示します。

フラッシュ設定	説明
AUTO/👁AUTO（オートフラッシュ）	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
ϟ/👁ϟ（強制発光フラッシュ）	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
⊘（フラッシュ発光禁止）	フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
Sϟ/👁SLOW（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。

2 フラッシュの設定を選びます。

3 構図を決めてピントを合わせます。

☛ チェック

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに ϟ が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに ! が表示されます 。フラッシュ設定を ⊘ 以外にするか、三脚をご使用ください。

4 撮影します。

☛ チェック

- フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- 撮影時にフラッシュを押さえると発光禁止になります。

メモ：スーパーｉフラッシュとは

- このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「スーパーｉフラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

顔キレイナビ ON、赤目補正 ON のときのフラッシュ設定について

セットアップメニューで赤目補正を ON（→ 103 ページ）にして、顔キレイナビを ON に設定（→ 86 ページ）した場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行ないます。そのため、フラッシュは、AUTO（赤目軽減オートフラッシュ）、（赤目軽減＋強制発光フラッシュ）、SLOW（赤目軽減＋スローシンクロ）から設定できます。

AUTO（赤目軽減オートフラッシュ）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。